

市民活動記録管理の現状と歴史的課題 ー日本と韓国の事例を中心にー

市民活動資料は、市民の生き生きとした活動を復元する基礎資料として、また公的資料とともに客観的な歴史を復元する基礎資料としても、非常に重要なものです。しかし、公共機関や大学などの資料保存空間の不足や、永久保存の必要性に対する意識が不十分であるため、体系的保存が困難なのが現状です。そうした市民活動記録の重要性を再認識し、体系的かつ科学的な保存体制を構築する方法を模索するのが本シンポジウムの趣旨です。

日時 2013年11月28日(木)、13:30~18:00
会場 法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー (スカイホール)
(〒102-8160東京都千代田区富士見2-17-1)
交通 JR:市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩10分 (ほか地下鉄線あり)
参加費 無料

【プログラム】

第1部

13:30~13:40 主催者挨拶
原 伸子 (法政大学大原社会問題研究所 所長)
13:40~14:10 東京都立多摩社会教育会館旧市民活動サービス・コーナー資料の移管経緯と「市民活動資料・情報センターをつくる会」の活動
杉山 弘 (市民活動資料・情報センターをつくる会 運営委員)
14:10~14:40 水俣学関連資料管理・活用の現状と課題
花田昌宣 (熊本学園大学・水俣学研究センター・センター長)
14:40~15:00 休憩

第2部

15:00~16:20 韓国の民主化運動資料の収集・管理体制構築の歩み
ー聖公会大学の民主資料館を中心に
チョ・ヒヨン (聖公会大学民主資料館館長、同大学社会科学部 教授)
16:20~16:40 休憩
16:40~18:00 コメントと質疑応答
高橋 実 (国文学研究資料館 名誉教授、日本アーカイブズ学会会長)
金 慶南 (法政大学大原社会問題研究所 准教授)

司会: 鈴木 玲 (法政大学大原社会問題研究所 教授)

(注) 肩書は2013年9月現在

申込み ファックスかメール(下記)で、11月22日(金)までに「アーカイブズシンポジウム」と明記のうえ所属とお名前、連絡先をお知らせください。

法政大学 大原社会問題研究所 環境アーカイブズ

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

ファックス 042-783-2345

メールアドレス k-archives@ml.hosei.ac.jp